



自主防災隊通信 春号



R4.4. 吉日 和合町自主防災隊

自主防災隊って何？

和合町には自主防災隊があり、災害に備えていることは知っていても、実際にはどんな活動をしているか、詳しくは知らないという方が、ほとんどだと思います。今回は、自主防災隊とは何か、をテーマにお話を進めていきたいと思います。

防災の話をする時に必ず出てくるのが、「自助」「共助」「公助」という言葉です。

「自助」 は、自らが自分を守ること

「共助」 は自分達の地域は自分達で守ること

「公助」 は公の機関（消防や、病院、ガス会社、水道局、電力会社、行政等）が行うこと
この3つの助がうまく連携することが、災害に立ち向かうためには必要不可欠です。

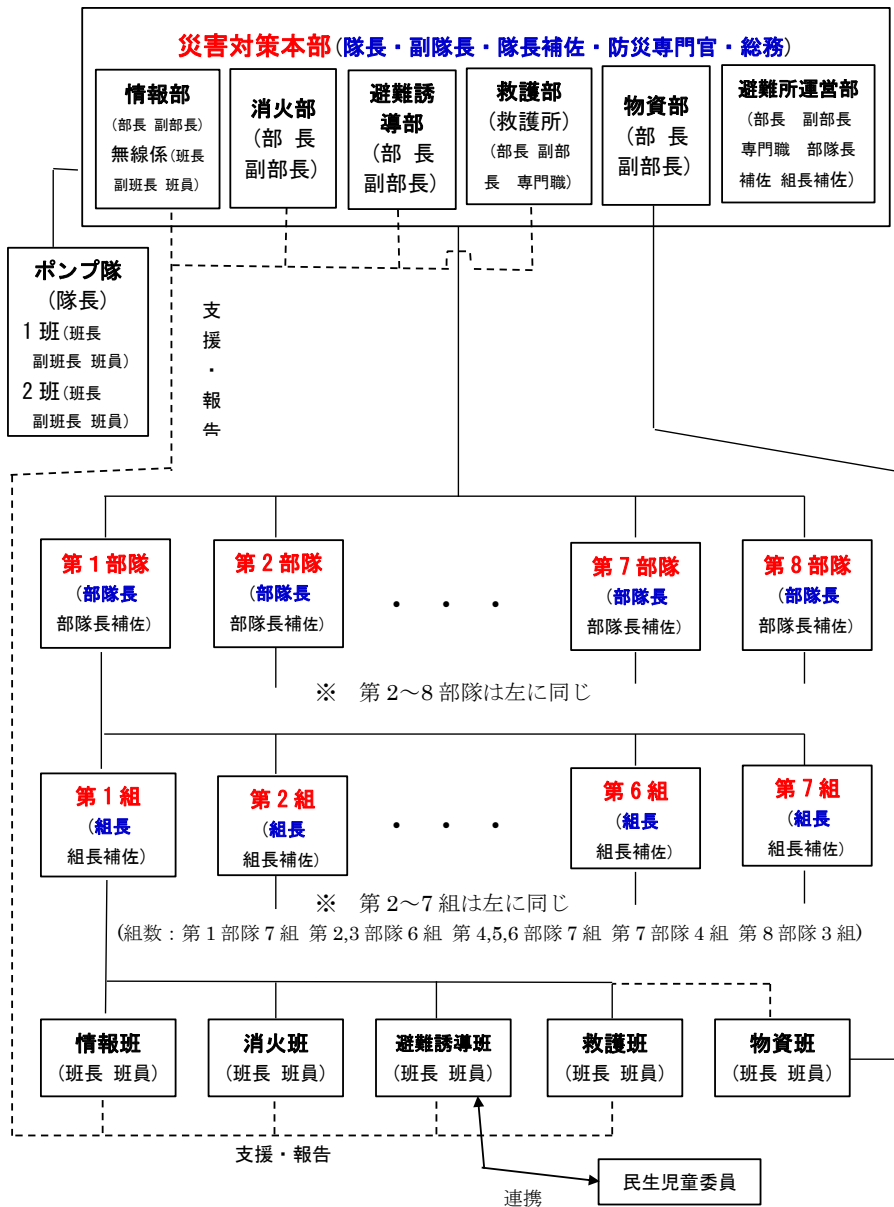


自主防災隊は
この中の
「共助」だよ



自分達の地域は自分で守ろう、という理念の下、災害が発生した時にできるだけ被害が少なく、また、地域住民が混乱することなく生活が送れるようにと、和合町では自治会組織とは別に自主防災隊の組織がつけられています。

和合町自主防災隊の組織図 は下記の とおりです。



自主防災隊の隊長は、自治会長です。

そして、**災害対策本部**には、**隊長、副隊長、隊長補佐、総務**（これらの人は、自治会役員）、**防災専門官**があり、その下に**情報部、消火部、避難誘導部、救護部、物資部、避難所運営部、ポンプ隊**（各部の部長は、自治会役員）があります。

また、対策本部の下には、「自分達の地域を守ろう、助け合おう」というコンセプトのもと自治会の部を単位とし、町内**8つの部隊**が組織されています。部隊のリーダーは、自治会の**各部長、組**のリーダーは、**各組長**です。

更にその下には、組単位で**情報班、消火班、避難誘導班、救護班、物資班**が設置されていて各組、2年ごとの持ち回りで班長、班員が決められています。



僕と一緒に
自主防災隊のことを
勉強しよう

組織は分かったけれど、実際にいざという時には、

自主防災隊ってどうやって町民を守ってくれるのでしょうか？

災害が起こった時、和合町自主防災隊は、泉小学校グラウンドに災害対策本部をたちあげます。ただし、これは**指令本部であり、実働部隊ではありません**。自主防災隊の本部員は災害発生と同時にここに集まって、情報を正確に把握し、様々な対策、**指示を出すという任務**を負います。

自分が被災した時、助けてくれる人は誰なのか？

自分の地域の**部長さん、組長さん、防災班長さん**が実際に助けてくれる人となります。彼らは、防災の知識をもち、訓練も受けています。本部と連絡を取りあい、地域住民の安全を守ってくれる地域のリーダーです。いつも、ご近所同士で自治会活動を通してよくわかりあった人が、いざという時に頼りになるのです。

皆さんの役割は何なのか？

災害が起こった時は全員が被災者です。ご近所で火が出た時、消火班長が一人で火を消せるわけではありません。みんなでバケツリレーということもあるでしょう。

誰かが、建物の下敷きになった時、救護班長が一人で助け出せるわけではありません。

ご近所さんみんなで一緒に助け出さなければいけないということもあるでしょう。

部隊長さん、組長さん、防災班長さんがいるからといって、彼らがすべてしてくれるわけではありません。彼らだけでは何もできません。

つまり、自主防災隊っていうけれど、

実際はご近所同士で助け合わなきゃいけないよ！！

ということなのです。

実際に災害が起こった時、不安や心配で、混乱してしまって、どうしたらいいかわからなかったという話を聞きます。一人では不安な時も、誰かが一緒だと、落ち着いて判断ができます。

誰かと声を掛け合い、一緒に話をすれば、協力しあえば、

「こうすればいいよ。」「みんなでこうしようよ。」と言ってくれるリーダーがいてくれば、

災害時にこんな心強いことはありません。

自主防災隊は、地域の人が、みんなで安心して災害に立ち向かうために協力しましょう、という組織です。そういった意味においても、よく知った地域の人たちでそんな関係性を作っていくことが日々の安心につながります。和合町自主防災隊は自治会と共に、そんな関係性を作っていきたいです。



編集後記

自主防災隊通信は平成 31 年春号より全戸配布の形でスタートし今年で 4 年目となります。毎月の防災ニュース（回覧とホームページ）と春秋 2 回、自主防災隊通信（全戸配布とホームページ）にて、皆さんに様々な防災情報を、今年度も発信してまいります。近年は地震だけでなく次々と災害が発生しています。災害が起こる可能性は「もし」ではなくなってきました。また、防災の考え方、避難の方法等も変わってきています。災害を自分事としてそれぞれが考えるきっかけになってもらえるような発信をしていきたいと思えます。

和合町自主防災隊 防災コーディネータ 松山美佐